



観音寺市

議会

だより

第4号 2015年2月



出初式

12月議会の概要

平成26年第7回定例会は、12月2日に招集され、18日までの17日間の会期で開かれました。

提案された条例関係議案11件、予算関係7件（専決1件を含む）、人事関係4件、議提議案1件、その他6件は審議の結果、全て原案どおり可決しました。請願2件、陳情4件については審議の結果、陳情1件を採択し、その他は不採択としました。

また、8日、9日の一般質問では、個人質問に議員13人が40項目について、当局の考えを質しました。

目次

3...	議案説明	5...	一般質問	10...	常任委員会	11...	審議結果	12...	議会日誌・編集後記等
------	------	------	------	-------	-------	-------	------	-------	------------

議長に大賀正三氏
副議長に伊丹準二氏を選出

議長

大賀 正三



副議長

伊丹 準二



本市における大型プロジェクトの一つである市役所新庁舎が今春完成します。開庁後は、市民サービスの向上と行政運営の効率化の推進、さらに防災の面においても災害に強いまちづくりの拠点として、より一層充実することは、本
 当に喜ばしいことでありま
 す。また、新市民会館がいよ
 よ建設に向けて動き始めま
 した。完成後は、西讃地区
 だけでなく県境に立地する
 地の利を生かし、芸術文化
 の創造の活動拠点として、
 さらに地域振興の中心的
 施設として大きな効果を
 もたらすものと期待して
 おります。
 本市議会では、市民の皆
 様の暮らしを支えるため、
 議員自ら研鑽を積み、議
 会の改革と活性化および
 チェック機能の充実をこ
 れまで以上に図ってまい
 ります。
 今後とも、皆さま方の
 たいご支援、ご協力を賜
 りますようお願い申しあ
 げます。

観音寺市議会委員会名簿

平26.12.2

平26.12.2

常任委員会			議会運営委員会					
総務	委員長	安藤 康次	文教民生	委員長	友枝 俊陽	議会運営委員会	委員長	立石 隆男
	副委員長	豊浦 孝幸		副委員長	篠原 和代		副委員長	安藤 忠明
	委員	高橋 照雄		委員	大久保隆敏		委員	高橋 照雄
	//	大賀 正三		//	安藤 忠明		//	大平 直昭
	//	篠原 重寿		//	大平 直昭		//	安藤 康次
	//	石山 秀和		//	立石 隆男		//	井下 尊義
建設経済	//	井上 浩司	広聴広報	委員長	石山 秀和	//	友枝 俊陽	
	委員長	井下 尊義		副委員長	篠原 和代			
	副委員長	五味 伸亮		委員	篠原 重寿			
	委員	秋山 忠敏		//	大平 直昭			
	//	大矢 一夫		//	友枝 俊陽			
	//	詫間 茂		//	五味 伸亮			
	//	伊丹 準二		//	藤田 均			
//	藤田 均							

次のとおり委員の任命などに同意しました

監査委員（議案第95号）

秋山 忠敏 柞田町

教育委員会委員（議案第81号）

大久保健二 八幡町

人権擁護委員（議案第82号）

阪上 耕造 豊浜町
 藤岡 修 大野原町
 竹内 保壽 大野原町
 三好 久恵 大野原町

固定資産評価審査委員会委員

（議案第92号）

高橋 啓二 粟井町
 島田美和子 三豊市豊中町
 安藤 修二 坂本町

第7回(12月) 定例会

条例改正(11件)

市組織条例の一部改正

(議案第70号)

市の組織再編に伴い、事務分掌を改める。

市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

(議案第71号)

人事院勧告に基づき、期末手当の額を改める。

市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正

(議案第72号)

人事院勧告に基づき、期末手当の額を改める。

市職員の給与に関する条例等の一部改正(議案第73号)

人事院及び県人事委員会勧告の趣旨を踏まえ、通勤手当、勤勉手当、給料表の給料月額を改める。

市国民健康保険条例の一部改正

(議案第74号)

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の額を改める。

市指定介護予防支援等事業の人員及び運営等の基準等に関する条例の制定

(議案第75号)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の制定に伴い、指定介護予防支援等事業の人員及び運営等の基準等を定める。

市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

(議案第76号)

平成26年度末をもって、三観衛生組合での尿処理の終了に伴い、し尿の処理区域を変更する。

市大野原一般廃棄物最終処分場条例の一部改正

(議案第77号)

家庭系一般廃棄物の搬入を平成25年度末に終了したことに伴い、関係規定を整備する。

市衛生センター設置条例の一部改正

(議案第78号)

平成26年度末をもって、三観衛生組合でのし尿処理を終了し、観音寺市衛生センターで処理することに伴い、施設使用料を改める。

市立学校条例の一部改正

(議案第79号)

大野原、萩原、紀伊小学校の統合に伴い、小学校の名称及び位置を改める。

市放課後児童クラブ条例の一部改正

(議案第80号)

児童福祉法の一部改正及び高室なかよし教室の移転に伴い、対象児童の範囲及び教室の位置を改める。

予算関係(6件)

一般会計補正予算(第6号)

(議案第86号)

予算総額に、4億2,930万8千円を追加し、総額301億3,969万8千円とする。

主な歳入補正

子育て支援対策臨時特別事業費(県補助金) 4,543万2千円
土地売却収入1、369万4千円(国道11号交差点改良に伴う市有地売却)
財政調整基金繰入金1億2千万円

主な歳出補正

新庁舎建設工事費8、815万8千円(工事資材や労務単価の変動等への対応)

三観広域電算センター負担金20、292千円(平成27年度からのマイナンバー制度導入準備費用)
保育所緊急整備事業補助金6,814万6千円(認可保育園4園への施設整備補助)

国民健康保険伊吹診療所特別会計補正予算(第1号)

(議案第87号)

予算総額に、1億7,957万7千円を追加し、総額8億757万7千円とする。

三観衛生組合同約の一部変更

(議案第88号)

三観衛生組合が平成26年度末で共同処理事務を終了するため、一部事務組合の規約の変更に係る関係市の協議

市道路線の変更(議案第83号)

市道長尾線の起点位置を変更

香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の一部変更

(議案第84号)
土庄町小豆島町環境衛生組合の脱退及び組合規約の一部変更に係る関係地方公共団体の協議

航路事業特別会計補正予算(第1号)

(議案第90号)

予算総額に、1,236万1千円を追加し、総額1億1,736万1千円とする。

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(議案第91号)
予備費を536万円減額

専決処分の承認(1件)

一般会計補正予算(第5号)

(議案第68号)

予算総額に2、849万3千円を追加し、総額297億1,039万円とする。(12月14日執行の衆議院議員選挙費用)

その他(6件)

三観衛生組合同約の一部変更

(議案第69号)

三観衛生組合が平成26年度末で共同処理事務を終了するため、一部事務組合の規約の変更に係る関係市の協議

市道路線の変更(議案第83号)

市道長尾線の起点位置を変更

香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の一部変更

(議案第84号)
土庄町小豆島町環境衛生組合の脱退及び組合規約の一部変更に係る関係地方公共団体の協議

航路事業特別会計補正予算(第1号)

(議案第90号)
予算総額に、1,236万1千円を追加し、総額1億1,736万1千円とする。

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(議案第91号)
予備費を536万円減額

香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分

土庄町小豆島町環境衛生組合の脱退に伴う財産処分に係る関係地方公共団体の協議

三観広域行政組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の一部変更

三観広域行政組合が設置及び運営管理する養護老人ホーム「七宝荘」の民間譲渡に伴い、組合の共同処理する事務及び組合規約の一部変更に係る議決

三観広域行政組合が設置及び運営管理する養護老人ホームに関する事務を共同処理する事務から外し、施設を民間譲渡し、譲渡金を関係市に配分する議決

議提議案（1件）

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、期末手当の額を改める。

請願（2件）

年金削減の取りやめと最低保障年金の実現を求める。

消費税10%増税の中止を求める意見書提出を求める。

陳情（4件）

農業委員会、企業の農地所有、農協改革など「農業改革」の中止を求める。

政府による緊急の過剰米処理を求める。

戦争体験を次世代に引継ぐ事業の実施を求める。



消費税増税の中止を求める意見書の提出を求める。

第6回臨時議会 (11月12日)

新市民会館建設の工事請負契約など3件の議案と陳情1件が付議されました。審議の結果、3議案は原案どおり可決・同意されました。また、陳情は賛成少数で不採択となりました。

市固定資産評価審査委員会条例の一部改正

固定資産評価審査委員会委員の定数を「9人」から「3人」に改める

工事請負契約の締結

新市民会館建設工事請負契約（59億1,624万円）を締結することについて、議会の議決を求める。

一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ879万4千円を追加し、予算総額296億8,189万7千円とする。

陳情(継続・1件)

住宅リフォーム助成制度創設を求める。

一般質問項目表（個人質問）

12月8日(月)

順番	氏名	質問件名
1	大矢 一夫 (友志会)	●市のPRについて ●通学路の安全について ●スポーツ施設の安全点検について
2	詫間 茂 (友志会)	●高齢者の生きがいづくりを含めた福祉の充実について ●糖尿病について ●総合運動公園の整備について ●ホームページについて
3	篠原 和代 (民政クラブ)	●放課後児童クラブについて ●市内の保育所・保育園について ●医療費の窓口無料化の拡大について
4	大平 直昭 (友志会)	●のりあいバスについて ●観光行政について
5	伊丹 準二 (民政クラブ)	●のりあいバスの利用状況について ●新庁舎完成後の支所機能について ●新市民会館の運営について
6	安藤 忠明 (公明党)	●防災について ●住宅の耐震改修について
7	石山 秀和 (公明党)	●新庁舎の案内板について ●元気地域商品券事業について ●市内の環境美化について ●耳マークの設置推進について ●青少年のインターネット依存対策について

12月9日(火)

順番	氏名	質問件名
8	豊浦 孝幸 (民政クラブ)	●「四国のまんなか!まるごと!かんおんじフェア」について ●公共施設における分煙について ●アートせとうち2014について
9	篠原 重寿 (社会民主党)	●定住促進への取り組みについて ●生きがいのある生活について
10	高橋 照雄 (立志会)	●財政について ●防災について
11	藤田 均 (日本共産党)	●のりあいバスの運行とデマンドタクシーの新規導入について ●旧東小学校跡地の一時的有効利用について ●市としての米価暴落対策について ●電力会社の太陽光発電等の買い取り中止について ●四国新幹線について
12	安藤 康次 (民政クラブ)	●「安全・安心のまちづくり」について
13	五味 伸亮 (立志会)	●七宝山配水池の耐震改修について ●総合運動公園の整備計画について ●障がい児の支援について ●農業政策について ●自治公民館を活用した地域コミュニティの再生を図る提案について

●印については、質問と答弁の内容を次ページ以降に掲載しています。

13人の 議員が聞いた!

一般質問

個人質問



大矢 一夫

市のPRについて

【質問】今年11月に全国商店街振興組合連合会の補助を受けて、各商店街では「かおんじ映像祭り」、瀬戸内芸術祭で公式プログラムにもなった「よるしるべ」、エキドオリノヒカリ」などを開催し、市内外から作品制作や出店に参加され、多くの方々がイベントに参加のために観音寺に來られた。市内の各種イベントについて市からのPRも必要ではないか、市の基本的な考えを伺う。

【答弁】行政からのお知らせや情報は、「広報かおんじ」やHPで、市内外で行う本市関連イベントや利用者の関心が高そうな情報は、ツイッターやフェイスブックなどのSNSやラジオ番組を利用して情報発信に取

り組んでいる。今後も、イベント主催団体や関係機関とも連携を図りつつ、市内外の皆さまに本市の良さを知っていただけるよう、時期を失することなく効果的な情報発信に取り組んでいきたい。

通学路の安全について

【質問】観音寺中学校区通学路である八幡町一丁目市道交差点において交通事故があったと聞く。中学校職員による交通指導もしているが自歩道がない。危険箇所について再度チェックし直し、関係部署と連携して早急な対応をお願いしたいがいかがか。

【答弁】中学校前から交差点までの市道は住宅事情などにより道路の拡幅は難しく、道幅が狭いため道路交通法によりセンターラインも入れることができない。路肩との境界を示す白線が薄く明確でないところは引き直す計画である。学校による交通安全指導の強化に加え可能な範囲で道路環境整備を行い登下校の安全向上に向けて努力する。



詫間 茂

高齢者の生きがいづくりを含めた福祉の充実について

【質問】高齢者が住み慣れた地域で暮らせるような医療や介護、生活支援など総合的な地域包括ケアの充実が求められている。市は、どのような方策を立てて実施しているのか、今後どのような見通しを立てているのか伺う。

【答弁】今後、一人暮らし高齢者、高齢者世帯、認知症高齢者の増加が見込まれる。ごみ出しや簡単な家事手伝いなど、少しの支援があれば要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる。そのために地域の人が高齢者を見守り、また、生活支援や通いの場などの活動を通じて生きがいを持ち、お互いが支え合えるような、生活支援の担い手の養成、地域資源の開発やネットワーク化など、支援体

制の充実・強化を図っていきたく考えている。

総合運動公園の整備について

【質問】総合運動公園整備計画の中で、陸上競技場は、平成27年度に工事を始め、平成28年5月の検定で3種公認の全天候型競技場へ改修するという計画案が3月議会で提出されたが、「競技場を整備することに反対するものではないが、実施設計は早急すぎる。」という意見が出され、10対9で否決された。9月議会で補正を組むという説もあったが、いまだに進展していないのが現状である。今後どのような計画になっていくのか伺う。

【答弁】市体育協会などからの総合運動公園の改修に関する要望もあるので、検討している。





篠原 和代

放課後児童クラブについて

質問 本市が実施している放課後児童クラブについて、また、一ノ谷小学校区の放課後児童クラブ開設について伺う。

答弁 現在、市内には、7教室あり、通常は、放課後から18時まで、8月は8時から18時まで、保育料は、月額5千円で、8月のみ1万円、要保護者は全額、主要保護者は半額の減免措置がある。利用条件は、保護者および同居の親族その他の者が労働などにより、昼間家庭を留守にしていること。また、今年度までは、3年生までが対象だったが、来年度からは、全学年が対象となる。また、一ノ谷地区に関しては、開設に向けて、検討している。



市内の保育所・保育園について

質問 市内の公立保育所、認可保育園の現状について、また、第2子以降の無料化の実施による影響などについて伺う。

答弁 開所日は、休日、祝日、年末年始を除いて、公立、法人ともに月曜日から土曜日、開所時間は、平日、公立が7時半～17時半、法人が7時半～18時半、土曜日は、公立が7時半～12時半、法人が7時半～18時、しかし、保護者の迎えが終了するまでは開所している。また、無料化事業実施における影響についての調査はしていないが、入所児童数は若干の増となっている。

医療費の窓口無料化の拡大について

質問 現在実施の子供医療費窓口無料化の県内窓口無料化への拡大について伺う。

答弁 子供医療費県内窓口無料化は、来年度8月の医療証の更新時期をめどに検討する。



大平 直昭

のりあいバスについて

質問 のりあいバスの利用状況と課題などを伺う。

答弁 1日当りの平均利用者数は、平成24年度258人、平成25年度238人、平成26年度は10月末までの集計では249人。平成22年度以降5年間の経年比較では徐々に減少している。

課題は、これまでの改正で1路線当りの運行距離が長くなり長時間乗車となっていること、こうした現状から増便を求める要望には応えられないこと、今後の利用者の推移や経費の面からバスを増車することは困難であることなどである。利用状況や課題を踏まえ、今後、最も効率的で有効な方法は何かを調査し、新たな方向性を示していく必要があると考えている。

質問 効率的で有効な、公共交通機関として、民間のジャンボタクシーを活用し

た「デマンド交通」の導入を真剣に検討すべきかと考えるかがか。

答弁 利用者のニーズに添えていける運行形態として、地域公共交通会議の意見なども踏まえながら、「デマンド交通」も検討すべきものと考えている。

観光行政について

質問 観光振興で重要な役割を担っている観光協会だが、人手不足、印刷費等の経費不足など、厳しい運営状況だと聞いている。観光協会の安定的な運営と実施する事業のさらなる充実に向けて、観光協会への支援の見直しが必要だと考えるかがか。

答弁 観光をまちの活性化につながる重要な産業としていくためには、観光協会の安定的な運営は欠かすことのできないものである。今後、観光協会とも十分に協議し、的確な支援策を検討していきたい。



伊丹 準二

のりあいバスの利用状況について

質問 現行の運行路線に不便を感じる利用者がいる。また、本市のバスと並行して三豊市のバスが走る路線があり、無駄を感じる。相互補完を含めた運用の効率化が図れないか伺う。

答弁 三豊市のバス路線全12路線中、4路線が本市内を運行し、18力所の停留所を設けている。本市の停留所に近接するものは8力所あり、市民も日常的に三豊市コミュニティバスを利用して通勤している。地域公共交通会議においても、双方協議による効率化の意見が出されており、今後検討していく。

新庁舎完成後の支所機能について

質問 来年5月完成予定の庁舎は1力所ですべての業務を賄うことを目的とするが、その完成後、大野原・豊浜の両支所機能はどのよ

うになるのか伺う。

答 弁 新庁舎完成後の両支所は、通常の窓口業務を残し、身近に地域の利便性を確保する機関として今後とも維持していく。また、その老朽化などの対策は、改修・他の施設との共用化・集約化なども含め、検討を進めていく。



新市民会館の運営について

質 問 来年4月より組織の改編がなされ、新市民会館の建設に対応する開設準備室が開設されるが、どのような内容なのか、また、新市民会館の稼働率向上について、どのように考えているか伺う。

答 弁 準備室では、新市民会館の建設と管理運営を行う。会館運営は市民会館開館年度に運営委員会を立ち上げ、大・小ホール50%、会議室等諸室65%の稼働率を目指す。



安藤 忠明

住宅の耐震改修について

質 問 長野北部地震でも住宅の強度が人命を守る基であることを知らされた。本市においても来るべき東南海地震に向けて住宅の耐震改修を急ぐべきではないか伺う。

答 弁 長野北部地震においては、白馬、小谷地区だけでも140棟の住宅が全半壊した。倒壊した住宅の下敷きになるなどして多くの方がけがをされたが、幸いにも死者が出なかった。雪国のために太い柱を使っていたためと報道されている。これらの状況を見ると、耐震改修の重要性を改めて認識させられた。本市の住宅

耐震改修は平成25年度には、耐震診断が28件で耐震改修が6件であった。さらに推進するために、たとえば、建物評点を0・7程度に抑えて耐震改修費用を低減できないかなどを考えている。ともあれ、単なるリフォームよりも生命を守るリフォームをすべきである。来春に向けて耐震改修のさらなる推進方法を検討していく。



石山 秀和

市内の環境美化について

質 問 市民の方から飼犬・猫などのふんの後始末についての苦情が多く寄せられている。今やペットは家族同然の関係にあり、その分生活環境に配慮したマナーが一段と求められている。現状のまちづくり条例の中で条文化されている「飼犬のふんの放置の禁止」を例えば、新たに「観音寺市飼犬ふん害等防止条例」に改め、より住環境に配慮したこれまでより市

民啓発が行き届くような条例などを制定して広報紙や畜犬登録時に積極的に市民に協力を呼びかけることを提案するがいかがか。

答 弁 新たな条例による対策強化は、現状の「美しいまちづくり条例」においても、飼犬のふんの放置の禁止、指導または勧告、措置命令など条文化しており、今のところ本条例を運用しながら状況を見守りたい。

耳マークの設置推進について

質 問 難聴者の方とお話しをする中で、「聞こえにくい」というのは、周りの人から理解されにくく誤解を受けられることもあり、人知れず苦労されている。また、「耳が不自由だ」と伝えるのはとても勇気がいる。

近年では、超高齢化の進展で老人性難聴も増えている現実がある。言葉が聞こえにくくなると認知症も進み、認知症の人は補聴器の操作も難しいようである。そこで、「耳マーク」の設置とその場で筆談での対応が可能なコミュニケーション

ンボードの設置を求めるがいかがか。

答 弁 聴覚障害の方が、職員や周りの人に気遣いせず、気軽に窓口を利用できるように努めることは、個人の人權を尊重していくために大切である。新庁舎においては、耳マークや筆談場所を設置する。



▲耳マーク



豊浦 孝幸

「四国のまんなか! まるごと! かんおんじブエア」について

質 問 今回各課をまたいで移住・観光・産業とでチームかんおんじとして、東京での観音寺市のPRを行ったがその手応えや今後の展開などについて伺う。

答 弁 11月17・18日の2日間、東京の日本橋プラザビル南広場で開催した。物産販売、観光情報の提供、移

住定住の相談にも応じる本市で初めて開催した単独の総合フェアだった。出店事業者はもちろん、東京に支店などをもつ会社や金融機関、関東在住のがんばれば観音寺応援隊のメンバーなどにも協力をいただき無事終了することができた。物産の購入者に本市のPR用クリアファイルを渡すなど知名度アップにつながる工夫もした。来年度以降も、より充実したフェアが継続開催できるよう検討を重ねていきたい。

公共施設における分煙について

質問 燧望苑では一部分煙が不完全でたばこの煙がもれる現状にある。この対処方法について伺う。

答弁 待合ホールは利用者も多いことから分煙のあり方を検討して、他の部分と遮断するなどの検討を行いたい。



篠原 重寿

定住促進への取り組みについて

質問 女性の初婚年齢が2012年で29・2歳と、3年前と比べ約4歳上がり、晩婚化している（厚労省労働白書）。背景として、雇用不安からの経済的環境がある。市も、人口減少対策が急がれる。以下、伺う。

① 空き家バンク制度、リフォーム助成制度の現状と制度改善に向けた考え方。

② 子育て支援として始められたファミサポ事業の進捗状況と、利用拡大策は。

③ 平成27年度からの新放課後児童クラブの制度概要と、市内の未実施校区への対応。

答弁 ① 空き家バンク制度は、本年4月から、市内在住者も利用可能となり、併せて、リフォーム補助制度を導入した。本年度は、旧制度3年間の5件を上回る9件の成約につながった。

② 現在、援助希望の「おねがい会員」5名、援助を行

う「まかせて会員」13名、「両方会員」4名の計22名が登録。今後、市ホームページ掲載、乳幼児健診時などでの紹介により、事業推進に努める。

③ 児童福祉法改正で、放課後児童クラブに携わる支援員の資格基準が定められ、対象児童も現在の3年生までが、6年生まで拡大となる。現在開設されていない一ノ谷地区については、保護者からの強い要望もあり開設に向けて前向きに検討を行っている。



高橋 照雄

財政について

質問 自主財源確保のための計画およびその進捗状況を伺う。

答弁 平成22年度に策定した第2次行政改革大綱に基づき第2次集中改革プランにより、市税などの収納率の向上や未利用地など市有財産の処分、使用料、手数料の見直しなどの取り組み

を進めている。平成25年度の実績額としては、市税などの収納率の向上で6、660万円、未利用地等市有財産の処分などで1億3、390万円、使用料、手数料の見直しで1、685万円の効果を上げている。また、平成22年度から平成25年度までの累積の実績としては、市税などの収納率の向上で、1億4、495万円、未利用地等市有財産の処分などで2億5、609万円、使用料、手数料の見直しで7、702万円となっている。

質問 平成25年度の基礎的財政収支、実質単年度収支および公債費比率を伺う。

答弁 平成25年度決算における基礎的財政収支は1億3、879万2、000円の赤字である。実質単年度収支は1億5、198万1、000円の赤字である。公債費比率は11・4%である。



藤田 均

のりあいバスの運行とデマンドタクシーの新規導入について

質問 坂出市は、公共交通の少ない地域にデマンドタクシーを導入している。料金は片道300円、予約制である。過疎地域の高齢者の通院や買い物に便利で、予約がなければ運行せず無駄がない。本市でも、併設実施できないか伺う。

答弁 のりあいバスの次の改正に向けては、新たな運行形態の検討を始める必要が出ています。デマンド交通も検討する。

旧東小学校跡地の一時的有効利用について

質問 旧東幼稚園の障害者作業所へ通う人から「旧東幼稚園まで入る道が狭くて危険」途中の旧東小学校跡地を一時的にでも通行と駐車で活用できないか伺う。

答弁 地域の方がスポーツに使用しない日であれば、

東公民館に申し込んでいただければ一時的な利用は可能である。

電力会社の太陽光発電等の買い取り中止について

【質問】電力会社による再生エネの買い取り拒否が、今年10月から始まっている。10キロ以下の住宅用は対象外だが、本市の買い取り中止の件数や総量は何キロワットか。補償はどうなるのか伺う。

【答弁】四国電力に問い合わせると、設置件数は観音寺・三豊市で約4千件。受付保留件数は「お知らせできない」との回答。市の設置補助は、この13年間で1,044件、総額1億2,926万円。設置動向は掌握していない。エネルギー対策は国が行うべきと思う。



安藤 康次

「安全・安心のまちづくり」について

【質問】青色防犯パトロール車は、豊浜支所、大野原支所、柞田、常磐、少年育成センターの2台、計6台が巡回している。市でも各小学校区に青パト車配備を考えていると聞かすが、今後の導入の予定を伺う。

【答弁】大野原地区、豊浜地区は現在補導員が支所の公用車を使用して巡回しているが、実施団体が結成された豊浜小学校区が平成26年度中に、大野原小学校区が遅くとも平成27年4月にはパトロール車を運行していただける。一ノ谷小学校区は平成27年4月の運行に向けた実施団体の設立、豊田小学校区は実施団体の設立のための協議をしている。観音寺・高室・粟井小学校区は今後実施団体の設立に向けたお願いをしていきたい。

【質問】子供の「安全・安心」のため自治会の協力をお願いして21基の防犯カメラを設置し運用しているが、今後の新設について伺う。

【答弁】平成27年度は2基新設する予定である。犯罪や交通事故が起きる可能性の高い場所に設置できるように県警に要望していく。

【質問】街路灯の整備は住民の安全・安心のため予算枠を増やして対応することについて伺う。

【答弁】市が管理している街路灯は3,027基であり毎年20基ほど新設している。街路灯設置工事費の予算は今年度も要望が多いことから、本議会に対して増額補正をお願いしている。



五味 伸亮

七宝山配水池の耐震改修について

【質問】高屋町七宝山配水池には4基の配水池が設置されているが、近年の自然災害もあり、住民から不安の声も上がっている。耐震化について、早期の対応を要望するが、市の考えを伺う。

【答弁】この施設は、水道施設の耐震設計基準以前に設置されたため、耐震性能について心配される。本年度から水道施設耐震化事業基礎調査を実施している。大地震や浸水被害などの災害に備え、緊急性の高いものから施設などの整備を行うための耐震化計画の策定を進めており、七宝山配水池も、適切な補強案を検討のうえ、耐震化や施設更新に取り組んでいく。

障がい児の支援について

【質問】障がい児通所支援事業について、本市の現状を伺う。

【答弁】観音寺・三豊地域で2事業所を運営するNPO法人が児童発達支援と放課後等デイサービスを提供しており、未就学児から小学3年生までの事業所では定員10名に対し25名の登録、小学4年生から高校3年生までの事業所では定員10名に対し23名の登録となっている。

【質問】保護者の希望に添えない現状にあり、事業の拡大が必要だと考える。質問内容以外にも保護者は多くの悩みを抱えている。市の担当と保護者の意見共有の場を持っていただきたい。そして、現状の早急な改善を提案するが、市の考えを伺う。

【答弁】初めて知った状況であるが、保護者の気持ちは理解している。情報交換をしながら、NPOへ事業の拡大などの協力を求めているなど、市として何らかの対応をしていく。



総務常任委員会

12月12日開催

総務部関係10議案、一般会計補正予算、航路事業特別会計補正予算が付託され、審査した結果、全議案について可決・承認すべきものと決定した。

また、請願が2件、陳情が2件付託され、請願2件は不採択、陳情2件は採択と不採択となった。

【請願審査①】
年金削減の取りやめと最低保障年金の実現を求める請願

年金削減の中止とそのための「マクロ経済スライド」の廃止、全額国庫負担の「最低保障年金制度」の実現を求める意見書を国に提出するよう求めるもの。

主な意見

「低所得者が増加している中、最低限の生活を保障する年金制度に抜本的に変える必要がある。」

「趣旨は十分理解できるが現在の年金制度は年金財政がバランスすれば給付削減が終わる仕組みになっている。生活困窮者の方への対応として、生活保護制度もある。」

「国政レベルの問題であり、地方議会が判断することは非常に難しい。継続審査が

必要である。」

採決

不採択（採択1人、不採択5人、継続1人）

【請願審査②】

消費税10%増税の中止を求める意見書提出を求める請願

本年4月から消費税が8%となり、長引く不況に加え、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦にあえいでいる。このようなことから、消費税10%増税の中止を求める意見書を国に対して提出するよう求めるもの。

主な意見

「10%ありきという今の方向性は見直すべきである。」

「社会保障と税の一体改革に基づき、消費税の増税は決まっている。確かに、消費税は逆進性があるが、その対応策として、軽減税率や給付付税額控除などの議論を並行していくのであればこのまま行かざるを得ない。」

「国政レベルの問題であり、衆議院選挙で判断を求めている。いろいろな状況を見ながら継続審査にすべき。」

採決

不採択（採択1人、不採択5人、継続1人）

【陳情審査①】

戦争体験を次世代に引き継ぐ事業に関する陳情

太平洋戦争の終戦から70年となり、市において市民が体験した戦争と復興の歩

みを次世代に引き継ぐ文獻の刊行を求めるもの。

主な意見

「正確な歴史観に基づき、祖国を愛し、自信と誇りが持てる子供たちを育てたいという思いから賛成。」

採決

全会一致で採択

【陳情審査②】
消費税増税の中止を求める意見書提出を求める陳情

本年4月から消費税が8%となり、長引く不況に加え、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦を強いられている。このようなことから、消費税増税の中止を求める意見書を国に対して提出するよう求めるもの。

主な意見

「税制の抜本的な部分であることから消費税の中止を求めていくべき。」

採決

不採択（採択1人、不採択5人、継続1人）

建設経済常任委員会

12月11日開催

建設部関係4議案、一般会計補正予算の関係部分、公共下水道事業特別会計補

正予算が付託され、審査の結果、全議案について可決すべきものと決定した。

また、陳情2件が付託され、審査の結果、不採択となった。

【陳情審査①】

農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情

政府が進める、「骨太方針2014」並びに「新成長戦略」に位置づけた「農業改革」の中止を要望し、農業の担い手の軸を家庭経営として、諸制度の充実、農業委員会、農協の役割の強化等を求め、国に意見書を提出するよう求めるもの。

主な意見

「食糧自給率を拡大するには、家族経営を守ることが大事であり賛成。」

「農協が一本化され、リストラ等があり、飼料も農協で購入しなければ、融資を受けられないので反対。」

「遊休農地の増加。米も過剰生産で地方創生改革を進めている段階で賛同できない。」

「家族経営と言いつながら耕作放棄地がたくさんあり、家族経営に夢と希望を持たすのは日本の農業を駄目にするのではないか。」

「農業改革を中止するのは、香川県はプラスかもしれないが、他県はマイナスもある。極端すぎて賛同しきれない。」

採決

不採択（賛成1人・反対5人）

【陳情審査②】

政府による緊急の過剰米処理を求める陳情

全国で米価の大暴落が強く懸念されている中、政府が必要の調整を行い、緊急に過剰米処理を実施することを求め、国に意見書を提出するよう求めるもの。

主な意見

「主食の米の需要と価格の安定をはかるのは政府の重要な役割。日本のお米を守ることで声を市議会として上げていくことが大事である。」

「農業政策自体を改革し、それで生活できるような仕組みを作らないといけない。」

採決

不採択（賛成1人・反対5人）

文教民生常任委員会

12月10日開催

健康福祉部関係6議案（関連議案として、一般会計補正予算の子育て支援課部分、社会福祉課部分、健康増進課部分）教育委員会関係3議案（関連議案として、一般会計補正予算の教育総務課部分、生涯学習課部分）が付託され、審査の結果、全議案について、原案のとおり可決すべきものと決定した。

行政視察の報告

日時 平成26年10月20日(月)～21日(火)

広聴広報委員会

場所・事項

●愛知県大口町【議会だよりについて】

大口町の「議会だより」は町村議会広報全国コンクールで何回も表彰されている広報紙である。「議会だより」づくりの原点は手にとって、読んでいただけるものにする事。

『「議会だより」は読者＝住民のもの』を基本に考えること。そのために3点のポイントがあり、「ありのままに」「わかりやすく」「住民とともに」である。文字ばかりで写真なし、見出しなし、余白もない紙面は読まれない、余裕のある紙面レイアウトを考えるなど大いに参考になった。



▲大口町

●愛知県半田市【議会改革の取り組みについて】

平成23年3月に議会基本条例を制定し、また、積極的に市民の声を聴くために各委員会が市内各地へ出向き、市民または各種市民団体と懇談、意見交換を行う「おでかけ委員会」の開催をするなど市民の意見をくみ上げるシステム構築に努めている。

各委員会で当局が実施している事業についての事業評価を実施し、議員総会で審査結果を全議員で確認をする。そして、議長が各委員長とともに評価結果を市長に通知し予算編成への反映を要望する。

3月定例会の予定		12月					11月					10月																									
27日	本会議	18日	議会運営委員会・本会議	16日	全員協議会	12日	総務委員会	11日	建設経済委員会	10日	文教民生委員会	8日	広聴広報委員会	2日	本会議	28日	議会運営委員会	25日	全員協議会	24日	市民フォーラム開催	12日	議会運営委員会・本会議	7日	広聴広報委員会	5日	議会運営委員会	20～21日	広聴広報委員会行政視察	14日	広聴広報委員会	10日	建設経済委員会 (閉会中の継続審査)	7日	広聴広報委員会	3日	建設経済委員会行政視察 (閉会中の継続審査)

議会日誌



広聴広報委員会

- 委員長 石山 秀和
- 副委員長 篠原 和代
- 委員 篠原 重寿
- 大平 直昭
- 友枝 俊陽
- 五味 伸亮
- 藤田 均

視察に来てくれました

- ◆平成26年10月21日
石川県輪島市
会派……………11名
「交流定住促進事業」について
- ◆平成26年10月28日
千葉県印西市
総務企画常任委員会……………8名
「災害に強い地域づくり条例」について
- ◆平成26年10月30日
山口県山陽小野田市
産業建設常任委員会……………8名
「災害に強い地域づくり条例」について
- ◆平成27年1月21日
千葉県市川市
会派……………1名
「出前講座事業」について

編集後記

議会だよりが別冊となり1年が経過しました。また、市民フォーラムは、「安全・安心のまちづくり」がテーマで、観音寺小学校で開催し、大勢の市民の皆さまにご参加いただきありがとうございました。

これからも市民の皆さまの声をお聴きし、市政に反映してまいります。今後ともご指導をよろしくお願いたします。



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。